

基礎科目外国語の履修（初修外国語）について

初修外国語（ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語）が必修または選択必修の学科の新入生に対して、入学手続き期間後に希望言語調査を実施します。

1年生の入門・初級クラスは、希望言語調査をふまえてクラス編成がなされます。

該当する学科の方は、期日までに回答してください。

初修外国語が必修の学科（入学前に希望言語調査を実施します。）

学科名	備考
史学科	ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語より一つの言語を選択して定められた単位数を履修しなければなりません。
現代社会学科	
国際文化学科	

初修外国語が選択必修の学科（入学前に希望言語調査を実施します。）

学科名	備考
日本文学科	ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語・選択英語より、定められた単位数を履修しなければなりません。
英文学科	

初修外国語が自由選択科目扱いの学科

（入学前の調査はありません。入学後に時間割を確認して、希望に応じて履修してください。）

学科名	備考
児童学科・被服学科・家政経済学科・社会福祉学科・教育学科・心理学科・数物情報科学科・化学生命科学科・建築デザイン学科・食科学科・栄養学科	学科の定める範囲内で自由選択科目として、卒業要件の単位数に算入することができます。

初修外国語のご案内（各語学の特長や魅力を紹介いたします）

母語と英語に加えて、第3の言語を理解し運用できることが、世界では常識となりつつあります。基礎科目の中には、初修外国語（ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語）科目が設けられており、これらの言語について、その文化的背景の理解を重視した授業が行われています。グローバル化が進行する現代において必須といえる、様々な文化的背景を持った人々とコミュニケーションをとる多角的な言語能力が身につきます。

ドイツ語

発音はローマ字読みが基本なので意外なほど簡単です。でもその響きは実は深くとてもクール！「ボールペン」をドイツ語では、「クーゲルシュライバー」って言います。カッコイイでしょ。

文法はかっちり規則的であるため、段階を踏んでじっくり学べば必ず成果が上がり、学びやすく達成感が得られやすい言語です。同じ西ゲルマン語族で近い親戚関係にある英語との文法や語彙の比較で、双方の理解が格段に高まります。

その意味で、英語が苦手な外国語上達のヒントをどうしても得たい方や、元々英語が得意でプロフェッショナルを目指したい方、いずれにもおすすめの言語です。英語を一通り習ってきた人が、自分の外国語学習の方法やメカニズムを見つめ直すとても良いきっかけとなる「次なる言語」の一つです。

しかも、医学・生理学・物理学・哲学・音楽・文学・歴史学・教育学・建築学・法学・経済学など現代の諸学問の基礎の多くが近代のドイツ語圏で生み出されました。それらが明治時代以降ドイツ語を通じて盛んに受容されてきた歴史があります。そのため、1 年次にドイツ語を学んでおくと、専門課程に進んでからさまざまな専門に係わる学術用語の深い理解に役立つことがきっとあると思います。

[さらに詳しい説明はこちら](#)

フランス語

フランス語は、フランス本国や海外県・海外領土（グアドループ、ニューカレドニアなど）をはじめ、モナコ、ベルギー、スイス、ルクセンブルク、カナダのケベック州、アフリカ（モロッコ、アルジェリア、チュニジア、コートジボワール）などで使用されており、公用語・準公用語となっている国はおよそ 50 か国あります。英語と並んで国際連合、ユネスコ、欧州連合など多くの国際機関の公用語でもあり、オリンピックでは第一公用語となっていて、国際的に広く使用されている言語です。

また、ファッション・料理・美術・音楽・映画・文学・歴史・スポーツ等々、日本にいながら触れられるフランス文化は数え切れません。フランス語を学べば学ぶほど、自分の身の周りにいかにフランス語があふれているかに気づき、楽しさが増し、ものごとへの理解が深まるにちがいありません。

本学では、ボルドー・モンテーニュ大学とは交換留学協定も締結しており、日仏交流に力を入れています。認定大学留学では、アンジェ西カトリック大学付属の語学学校 CIDEF への留学実績が多くあります。

また、毎年夏には南仏とパリでの 2 週間のフランス語・フランス文化研修を開催。春にも 2 週間のフランス語研修を実施しており、授業で学んだフランス語を現地で実践する機会が充実しています。

フランス語を学び、新しい世界に飛び込んでみませんか。

* ボルドー・モンテーニュ大学への留学に関しては、[こちら](#)をごらんください。

中国語

中国——14 億もの人口、56 の民族、広大な国土、悠久の歴史。日本の隣国である中華人民共和国の存在感はいや増すばかり、今や世界は中国経済を抜きには動かないほどです。また、中華文明圏の文化は古代から現代に至るまで、日本人を惹き付けてきました。

中華圏の歴史、政治、経済、社会、文化を理解するためには、中国語の学習を欠くことはできません。日本の漢字は中国から伝わったもので、表意文字として日中同形同意字もありますが、長い歴史の中でその字体・意味・筆順には変化があったものも多く、発音となると日本人にとってはかなり難しいといえます。

しかし、中国語を話す人びとは世界各地に散っており、母語話者人口は英語をおさえて世界第一位です(参考:文部科学省 HP)。中国語には“多一个朋友, 多一条路(友人が一人増えると道が一本増える)”という言葉があります。中国語を学んで、あなたの進む道を広げていきませんか？

本学では、8 月に中国・北京における 3 週間の語学研修を実施しています。参加者からは「充実していた」「また参加したい」という声が上がっています。生きた中国語を学ぶだけでなく、中国の文化や社会を実際に見聞・体験できる貴重な研修です。是非、参加を考えてみてください。

韓国語

皆さんは韓国語という言語にどのようなイメージを抱いていますか。韓国語は子音と母音、そしてパッチムとの組み合わせによって文字が完成し、また発音される言語体系を持っています。従って、それらの仕組みさえ理解していればいかなる文字でも読むことができ、書くこともできる、学びやすくまた楽しく勉強できる言語です。しかも、今日における韓国語の楽しみ方は語学だけに限定されたものではありません。たとえば、韓国語の文字は一見記号のような形に見えますが、むしろその形からアートの要素を引き出そうとする動きも最近登場してきました。また韓国語は K-POP や K-MOVIE など、多様な K カルチャーコンテンツを楽しむための手段となります。

さらに本学では、夏休み期間を利用して「韓国語学・文化研修」(研修先は梨花女子大学)を実施しています。この研修に参加することによって韓国語及び韓国学、そして国際感覚を養うことが出来ます(この研修プログラムは国際文化学部の必修科目であるため、人数調整になった場合は、国際文化学部の学生たちが優先的に参加)。皆さんも是非韓国語の魅力に触れてみてください。必ず、自分だけの楽しみ方が見つかるはずです。

- (1) 「韓国語学・文化研修 (SAP)」体験記は[こちら](#)。
- (2) 韓国語模擬講義 (国際文化学部 朴倍暎教授) は[こちら](#)。

[さらに詳しい説明はこちら](#)

初修外国語のご案内(さらに詳しい説明はこちら)

ドイツ語

現在のドイツは、ヨーロッパの政治・経済の中心として国際社会において重要な地位を占めています。ドイツ語は、ドイツ、オーストリア、スイス、リヒテンシュタインに加え、一人当たり GDP トップで世界一豊かな国と言われるルクセンブルクでも使用されています。ドイツ語を学ぶことで、日本的、アジア的、アメリカ的なスタンダードにとらわれず、世界を多角的に知るための第三の視点を手にすることができるでしょう。授業には文化理解、観光旅行、留学にも役立つ仕掛けをたくさん設けてあります。ドイツ語を学んでぜひヨーロッパへ飛び立ってください！

ドイツ語圏は、治安の良さ、外国人へのホスピタリティ、ガストロノミー(食へのこだわり)において高いレベルにあり、しっとりと落ち着いた大人の世界です。特に静謐かつ魅惑的なクリスマスマーケットはドイツが誇る一大文化でロマンチックの極みです。ライン河とドナウ河のヨーロッパの2大河やその支流域にはワイン畑や古城が点在し、各地に中世から抜け出てきたようなメルヘンチックな小都市が多く佇んでいます。時間観念、景観・自然の保守、街づくりの観点から見るべきことが多いのがドイツ語圏です。一方、ドイツはテクノロジー・産業・情報の先進国であり、建築デザイン、ファッションなど大都市のモダンな文化はヨーロッパ随一でもあります。その先進性ないし革新性と、質実剛健な保守性のコントラストは鮮烈であり、その共存については多くのことが学べそうです。

韓国語

正確な韓国語を楽しく学ぶために本学では段階別に多様な韓国語コースを用意しています。まず、基礎コースの「韓国語 a」、「韓国語 b」、そして「韓国語 LL」においては、韓国語の最も基礎となる文法や日常会話の基礎的な部分を学びます。そして、中級以上のコースでは、その基礎コースでの成果をより深化させるべく「韓国語中級」、「韓国語中級 LL」に加え、「韓国語中級アドヴァンスト(原典講読)」と「韓国語中級アドヴァンスト(コミュニケーション)」を、さらに「韓国語上級」を開講し、より高い水準での韓国語能力の向上を目指します。

